

HIRAYAMA TIMES

2017年6月期 事業報告書
(2016年7月1日～2017年6月30日)



もくじ

トップインタビュー

新たな高付加価値サービスを提供する
オンリーワン企業に向けて

平山の海外事業

2017年6月期 業績ハイライト

会社情報／株主メモ

証券コード：7781

新たな高付加価値サービスを

2017年6月期の業績と今後の成長に向けた取り組みを

代表取締役社長
平山 善一

Q1 当期の業績について お聞かせください

**主力事業を中心に
受注が堅調に推移し、
7期連続の増収を達成しました**

当グループを取り巻く当期の経済環境は、緩やかな回復が見られ、製造業においては増産が続き輸出が急増するなど、改善が進みました。

こうした環境下で当グループは、インソーシング・派遣事業では、輸送用機器、住設関連、食品関連分野からの受注が引き続き堅調に推移し、増収を確保いたしました。技術者派遣事業では、新たな領域への取り組みが堅調に進んでおり、その分野への先行投資を継続して増加させました。海外事業では、新規顧客開発を堅実に進め、海外展開をさらに推進してまいりました。

この結果、当期の業績は、売上高116億42百万円(前期比19.4%増)と7期連続での増収を達成いたしました。

一方、利益面では、人材採用面で厳しい環境が依然として続く中、今後の展開のため採用費用などの先行投資を戦略的に積極投下いたしました。その結果、営業利益は39百万円(前期比68.9%減)となるものの、経常利益は為替差益の影響により、87百万円(同36.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、消費税等簡易課税差額収入が特別利益として発生し、1億47百万円(同917.8%増)となり、ともに大幅な増益となりました。

売上高

11,642百万円
前期比19.4%UP

経常利益

87百万円
前期比36.7%UP

親会社株主に帰属する
当期純利益

147百万円
前期比917.8%UP

Q2 次期の業績見通しは いかがですか

**事業運営体制の最適化、
事業投資による成長を図り
増収増益を見込んでいます**

次期は、改正労働者派遣法や改正労働契約法などの法改正による影響に加え、経済の回復基調と少子化に伴う労働人口の減少と相まって、有効求人倍率は高止まりし人手不足が常態化するものと予想しております。

このような市場環境の下、当グループでは、グループ経営の一層の強化を通じ事業運営体制の最適化や事業投資による成長、ブランド力の向上を図り、継続的成長を目指してまいります。各セグメントで既存取引先への対応強化と新規取引の開拓、拡販等により、売上・利益ともに伸長を目指します。

これらの取り組みにより、次期の業績は、売上高131億円(前期比12.5%増)、営業利益1億60百万円(同300.1%増)、経常利益1億60百万円(同82.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億円(同36.0%増)を見込んでおります。

2012年
6月期

[売上高]

5,787
百万円

提供するオンリーワン企業に向けて

平山社長に伺いました。



Q3 今後の成長戦略について教えてください

高付加価値サービスを提供するオンリーワン企業に向け、 売上高200億円を目指します

日本経済の長期にわたる回復基調と少子化に伴う労働人口の減少により今後も人手不足の常態化が予測される中、当グループの属する請負・派遣サービスの市場でも、新たな仕組みの構築やITを活用した省力化へのコンサルティングなど、様々な需要が寄せられています。

こうした中、当グループでは「人に付いた技術で日本のものづくりを支援する」をコンセプトに新たな高付加価値サービスを提供するグローバルオンリーワン企業をめざし、以下3つの柱で事業拡大をさらに推進してまいります。

まずは、新規事業と既存事業の融合によるサービス領域拡大と高付加価値サービスの創造です。リアルタイムのKPI評価をはじめとし、IoTを活用したシステム運用を新たに開始。これまで培ったモノづくりノウハウとの融合により収益性向上を図ります。

次に、高付加価値人材の育成と多様な人材採用です。教育体制強化により高付加価値人材を育成し、従業員のキャリアチェンジを推進します。採用に関しては、日本人の新卒・中途正社員だけでなく、外国籍技術者の積極採用と技能実習制度の活用によりグローバル人材も増員する考えです。これにより派遣先・インソーシング先の拡大を進めます。

最後に、国内サービスのパッケージ化と海外展開です。国内で成功したインソーシングモデルをパッケージ化し、東南アジアでも運用していきます。標準化された請負サービスにより工場運営のサポート力を向上させ、海外での事業展開を加速させてまいります。

これらの施策により、企業価値の向上に努め2020年6月期には売上高200億円の達成を目指してまいります。

[中長期経営戦略]

1. 新規事業と既存事業の融合による高付加価値サービスの創造
2. 高付加価値人材の育成と多様な人材採用
3. 国内サービスのパッケージ化と海外展開

2017年
6月期

[売上高]

11,642

百万円

2020年
6月期
(目標)

[売上高]

20,000

百万円

平山の海外事業

HIRAYAMA VIETNAM CO.,LTD.

HIRAYAMA (THAILAND) CO.,LTD.

約30年にわたる日本市場での実績を生かし、
タイやベトナム等の海外でも、
積極的にサービスを展開しています。

 HIRAYAMA (THAILAND) CO.,LTD.
JOB SUPPLY HUMAN
RESOURCES THAILAND CO., LTD.

現地企業や 現地専門学校（高専学校）と協業し、 人材育成・採用に注力

平山（タイ）では、人材派遣、インソーシング製造請負、現場改善コンサルティング、人材育成を4つの柱に事業を展開しています。

とくに、人材育成に注力しており、現地企業や現地の専門学校（高専学校）との協業により、人材の事前教育、新卒採用、学生ワーカーの活用などに取り組み、高い評価を受けています。

人材派遣では、チョンブリ県のアマタナコン工業団地を中心に、約3,000名を派遣しています。請負現場や派遣現場の改善診断は日本人コンサルタントが担当し、現場の改善や活性化を図ります。



 HIRAYAMA VIETNAM CO.,LTD.

長年の経験を持つ日本人スタッフと 現地スタッフの協力により サービスを展開

平山（ベトナム）は、高品質なコンサルティング、人材育成研修、人材管理等のサービスを展開しています。

現場改善コンサルティング事業では、長年の経験を持つ専門家による効果の高い改善コンサルティングを実施しています。

人材育成事業では、大手企業グループで長年の経験を持つ日本とベトナムの専門家が知識化を図り、どのような行動が成果につながるかを研修形式で提供します。また、人事コンサルティングでは、現地で基礎教育を受けたベトナム人スタッフを、ベトナム国内や日本国内の日本の企業様にご紹介しています。



第51期定時株主総会決議ご通知

平成 29 年9月 26 日開催の当社第 51 期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

- 第 51 期（平成 28 年7月1日から平成 29 年6月 30 日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
- 第 51 期（平成 28 年7月1日から平成 29 年6月 30 日まで）
計算書類報告の件
上記の内容を報告いたしました。

決議事項

議案 剰余金処分の件
原案どおり承認可決されました。期末配当金は、1株につき22円
と決定いたしました。

以上

2017年6月期 業績ハイライト

セグメント別の状況

インソーシング・派遣事業

インソーシング・派遣事業におきましては、輸送用機器、住設関連、食品関連分野からの受注は、引き続き堅調に推移いたしました。

しかしながら、主要取引先において、引き続き中途採用の人材不足が続いており、採用広告費の増加が収益を圧迫しました。これに対し、在籍している社員の定着率の向上に努め、新人社員への教育を積極的に行いました。

この結果、売上高は90億62百万円(前期比9.1%増)、セグメント利益は7億80百万円(同4.7%減)となりました。

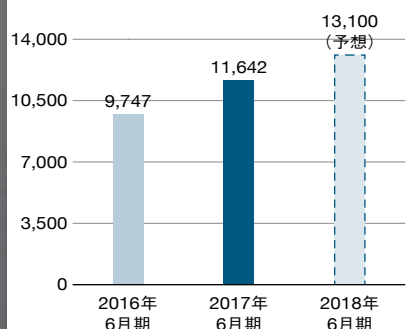
技術者派遣事業・海外事業・その他事業

技術者派遣事業は、輸送機器分野、通信機器分野からの需要が引き続き堅調に推移しました。生産技術分野への展開は実績が出てきており、次期黒字化への対応を行いました。海外事業では、主力のタイ国において製造業全体が停滞する中、大手日系企業を中心に営業活動を行い、積極的にビジネス拡大を図りました。売上高は大幅に伸長しましたが、先行投資としての採用の積極展開により、赤字脱却には至りませんでした。その他事業におきましては、主力の現場改善コンサルティング事業に旺盛な反響があり、堅調に推移しました。一方、スタディーツアー事業においては、欧米等遠隔地からのツアーが減少し、減収となりました。

この結果、売上高は25億80百万円、セグメント利益は△11百万円となりました。

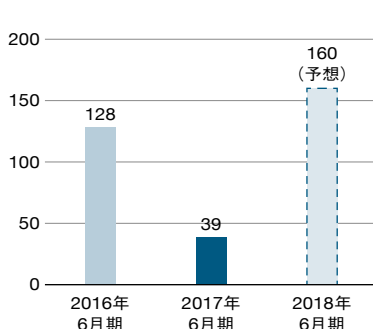
売上高

(単位:百万円)



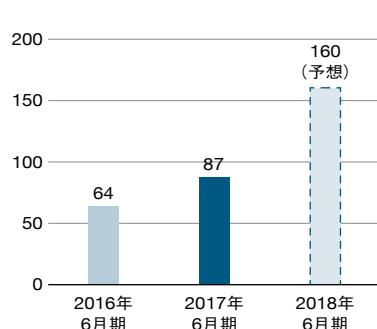
営業利益

(単位:百万円)



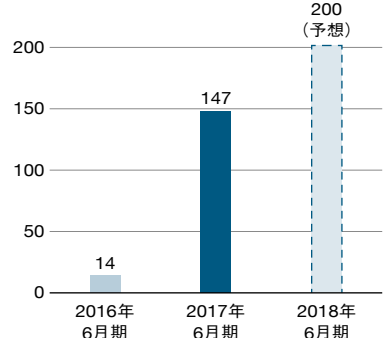
経常利益

(単位:百万円)



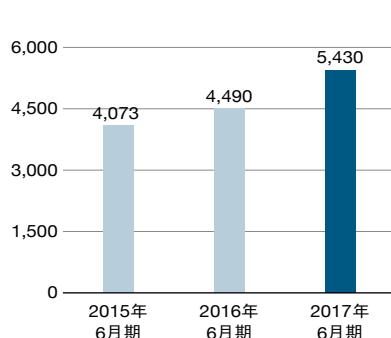
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



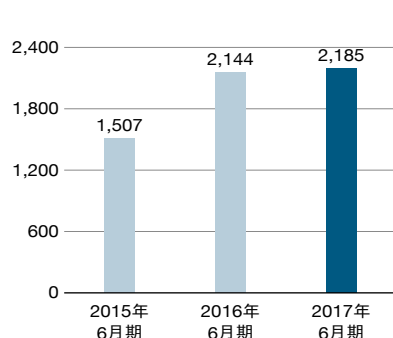
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



株主還元

利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続という観点から、配当性向は25%を基本方針としております。

2017年6月期
年間配当金
(1株)

22 円

2018年6月期
年間配当金
(予想/1株)

30 円

会社情報

(2017年6月30日現在)

■ 会社概要

商号	株式会社平山ホールディングス
本社所在地	東京都港区港南1丁目8番40号 A-PLACE品川6階
資本金	419百万円
グループ期末人員数	5,713名 (限定正社員及び契約社員を加えた総数／海外含む)
役員	代表取締役社長 平山 善一 (ヒラヤマ ヨシカズ) 専務取締役 平山 恵一 (ヒラヤマ ケイチ) 取締役(社外) 小牟礼 義人(コムレ ヨシト) 取締役(社外) 村上 伸一 (ムラカミ シンイチ) 常勤監査役 住友 千良 (スミモ チヨシ) 監査役 露木 忠晴 (ツユキ タダハル) 監査役(社外) 福永 隆明 (フクナガ タカアキ) 監査役(社外) 玉野 淳 (タミノ ジュン)

※当社は、2017年3月1日付で持株会社体制に移行し、株式会社平山ホールディングスとなりました。

■ 株式情報

発行可能株式総数	3,600,000株
発行済株式総数	1,747,200株
株主数	925名

■ 大株主

氏名または名称	所有株式数	持株比率
株式会社スリーアローズ	426千株	24.93%
平山善一	293	17.15%
平山恵一	201	11.78%
ハクトコーポレーション株式会社	127	7.47%
平山智一	56	3.30%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	52	3.05%
有限会社平寛堂	43	2.51%
平山従業員持株会	40	2.37%
平山上一	40	2.36%
株式会社SBI証券	25	1.50%

※持株比率は自己株式(38千株)を控除して計算しております。

※※所有株式数は百株以下を切り捨ててに表示しています。

株主メモ

証券コード	7781	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで	連絡先(郵送先)	東京都府中市日鋼町1-1
定時株主総会	毎年9月開催	および	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会 6月30日	電話照会先	0120-232-711(フリーダイヤル)
	期末配当 6月30日		郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
	中間配当 12月31日		三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	公告方法	電子公告により行います。
	三菱UFJ信託銀行株式会社		ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
			公告掲載URL
			http://www.hirayamastaff.co.jp



ホームページをリニューアルしました



デザインを一新し、当グループの事業内容や最新情報、今後の見通しをわかりやすくご紹介しています。ぜひご活用ください。



<http://www.hirayamastaff.co.jp/index.html>